

研究への携わり方、変えました。

井出陽子（新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO））

仕事の内容とおもしろいところについて

NEDOは、民間企業や大学だけでは実施できないような（例えばリスクの高い）研究開発を支援・推進（マネジメント）していく機関です。その関係から、官公庁、民間企業、大学など各界の方々の中で仕事をするようになります。仕事は大変ですが、想像以上に多種多様な方々と出会えること、最新の技術に幅広く携わることが醍醐味ではないかと思います。将来、自身が携わった事業の成果が普段の生活の中に取り入れられたらと思っています。

私の進路決定のきっかけ

大学・大学院の進学のかっけは、もともと生物が好きで、特に高校時代、脳と脳研究に魅力を感じたことです。初めはそのまま、専門に沿った研究職につこうと考えていましたが、大学院在学中にアメリカの国際学会に参加し、いろいろな研究室を見学した体験から、以後、研究における日本と他国との違いを認識し始め、ふつと日本の研究開発や国際競争力を向上させることに繋がる仕事がしたいと思うようになりました。また、より一層他分野・他業種の方々と接したいと思ったとき、NEDOに出会いました。

仕事と生活のバランスについて

大学院時代と比べ忙しさには変わりないですが、仕事のための休日・休日のための仕事、と実験や実験動物に影響された院生時代に比べてかなり気持ちメリハリがつかしました。「金曜日」という日にこんなに開放感を感じるものなのかと驚いています。休日はもっぱら気分転換しています。普段は買い物をするか、池波正太郎原作の作品を鑑賞して江戸時代に焦がれていますが、最近は健康志向が強まり、低山登山も始めました。

進路選択についてのアドバイス

博士号取得後に研究職に進まない、というのはまだ少数派ですが、例えば理系に進んだからといってその後の進路の方向性が一つに決まるということはありません。自分の専門を磨きつつも、どの道に進んでも幅広い視野を持ち、柔軟な姿勢で目標に向かうとよいと思います。

<井出陽子（いどうこ）プロフィール>

2000年3月 成蹊高等学校 卒業
2000年4月 東京大学 理科Ⅱ類 入学
2004年3月 同大学 農学部 応用生命科学課程 卒業
2004年4月 東京大学大学院 新領域創成科学科 先端生命科学専攻 進学
2009年3月 同大学 博士課程修了 博士号(生命科学)取得
2009年4月 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 入構